



若中通信

12月号

＜校訓＞ 創造・協調・自律

令和4年12月5日 北九州市立若松中学校長 吉原 治彦



≪「輝く想い」をつなげた文化発表会≫

11月3日(木・祝)、第25回文化発表会を開催しました。生徒が体育館に一堂に会しての文化発表会は2年ぶり、保護者のみなさまを迎えての発表会としては3年ぶりとなりました。当日は、多くの保護者のみなさまにお越しいただき、ありがとうございました。保護者のみなさまを前に、生徒も精一杯の表現をすることができたのではないのでしょうか。まず、ステージの部ですが、久々に若松中学校の体育館に合唱の歌声が帰ってきました。マスク着用での合唱のため、十分な歌声を届けることはできなかったかもしれませんが、この日のために一生懸命に練習を重ねた生徒の想いは、みなさまに届けることができましたと思います。初めての文化発表会に笑顔で臨んだ1年生、昨年からパワーアップした姿を見せた2年生、とても素晴らしい演技でした。そして、体育大会から約2か月、学校全体を牽引し、最高の表現をしてくれた3年生、「さすが3年!」といった様子でした。また、1年生のSDGsの発表や、放送部の発表、吹奏楽部の演奏も、見応えのあるものでした。展示部門では、各学年が授業等で取り組んだ足



あとが所狭しと並んでいました。細部まで手の込んだ作品や、趣のある作品など、感心させられる作品が数多くありました。美術部の作品も迫力があり、素晴らしいものでした。

文化発表後は、第25期生徒会執行部から第26期生徒会執行部へのバトンの受け渡しである交代式がありました。この文化発表会まで、全力で取り組んできた生徒会執行部の想いを受け継ぎ、良き伝統を継承しながらも、さらに新しい若松中学校を築いてほしいとおもいます。

生徒会のみなさん、そして全校生徒のみなさん、お疲れさまでした。



≪第25期生徒会長の話≫

「お前たち、最高!!」この校長先生の言葉に、今回の文化発表会の素晴らしさが表現されています。私にとっても最高の思い出になりました。今年度の文化発表会では、10月に行われた体育大会と同じ「輝く想いをバトンにのせて」をスローガンに掲げました。コロナ禍で多方面に制限がある中、私たちは保護者を招いての実施をすることができました。この文化発表会を絶対に成功させるため、全校生徒がスローガンを胸に一丸となって練習に励みました。私は、生徒会の最後の仕事として動画の撮影や編集をしたり、何度もリハーサルをしたりと仕事がたくさんあって大変でした。しかし、文化発表会当日、何度も修正を重ねたオープニングやエンディングの映像放映がうまくいき、みんなに喜んでもらったときはとても嬉しかったです。もちろん、生徒会以外でも合唱や演技に関わった生徒一人一人が大きな喜びや興奮、力を合わせて頑張った一体感を分かち合うことができました。この文化発表会の中で生徒全員が感じた、嬉しさ、感動、ユーモア、そしてリスクペクトの精神が、この若松中学校の誇らしい伝統だと思います。私たちの先輩が、長年築き上げて守ってきた伝統を、私たちは見事に次世代につなぐことができました。私は、この文化発表会で生徒会長としての任期を終えました。しかし、バトンを受け取った次の生徒会長の歩みが、今始まったばかりです。新生徒会執行部を中心に、生徒全員でこの若松中学校の伝統を背負い、さらに素晴らしい栄光を築き上げてくれることを期待しています。みなさん、1年間ありがとうございました。

(第25期生徒会長 石橋 壤治)

《第26期生徒会長の話》

こんにちは。このたび生徒会長になりました、2年3組の鎌田幸です。この1年間、しっかりと責任をもって仕事を成し遂げていきたいと思っております。去年までの生徒会執行部は、若松中学校のために、何度も時間をかけて話合いや仕事を行ってきました。遅くまで頑張る先輩方を見て、すごいなと思うと同時に、大変だなとも感じていました。そこで、私が生徒会長として務めるこの1年間は、スピード感を大切に、若松中学校のための仕事を丁寧に、かつ、スムーズに進められるよう、副会長や書記のみなさん、そして執行部全体で協力していきたいです。みなさん、1年間、よろしくお願いいたします。

(第26期生徒会長 鎌田 幸)



《学びチャレンジリーディングスクール》

本校では、令和2年より北九州市教育委員会の委嘱を受け、学力・体力向上を目的とした「学びチャレンジリーディングスクール」の研究・実践に取り組んできました。本年度は「知識・技能を活用しながら、課題解決に向かっていく生徒の育成 ～思考プロセスに着目した単元構成を通して～」を主題に全教科で取り組み、11月9日(水)に保健体育科の授業を公開しました。生徒自身が課題をつかみ、個人思考や集団思考を通して解決に向かうことを狙いとし、本市が推奨する「分かる授業づくり5つのポイント」や本校が狙う「若中5則」を基本に、コミュニケーションスキルの向上やICTを用いた思考の整理、発表などを取り入れた授業構成でした。

当日は2年生の器械運動「マット運動」でしたが、参加者からは「器械運動は嫌がる生徒が多い単元なのに、全員が楽しそうに生き生きと授業に参加していることに驚いた」「難易度の高い技も自分たちでポイントを整理し、他のグループに伝え、練習を通して上達しているのがすごい」などの声が聞かれました。

今後も、生徒自らが学びに向かい、課題解決を図る対話的で深い学びについて研究を続けていきたいと思っております。授業を提供してくれた2年2組のみなさん、ありがとうございました。



【若松中生徒指導部から】

『ブラボー!』サッカーワールドカップ、日本(日本 FIFA ランキング 24位)決勝トーナメント進出! 1次リーグでは、各上ドイツ(FIFA ランキング 11位)、スペイン(FIFA ランキング 7位)を共に2対1での逆転勝利! 2勝1敗の勝ち点6でE組首位通過を決めた。スポーツの力や日本のPRIDEを存分に感じる大会になっている! 「する・見る・支える・知る」それぞれの視点から楽しむことができ、一つのことに全世界の人が熱狂している!

若松中学校でも、この二学期、体育大会、文化発表会など、一つの行事にそれぞれの視点から本気で取り組み成功を収めた。多くの生徒が活躍し、熱狂し、みんなで『若中PRIDE』を感じることができたと思う。

これらの人々の心を動かしたものは何なのか? する人、見る人、支える人などそれぞれが『ブラボー!』につながる取り組みがあったからではないだろうか? ～自分を信じる～



《12月の行事予定》

日	曜	行事等	給食	日	曜	行事等	給食
1	木	1・2年 市学力調査生徒質問紙回答	○	15	木	全学年 三者面談(～20日)	○
5	月	生徒会専門委員会	○	21	水	大掃除 全市部活動休養日	○
6	火	1・2年 市学力調査 避難訓練	○	22	木	学年集会	○
9	金	安全スマホ教室(オンライン)	○	23	金	終業式・全校集会	×
14	水	2・3年 三者面談	○	27	火	学校閉庁日(～1月4日)	—
<1月の主な行事> 10 火 始業式 11 水 3年 実力テスト 18 水 中央高等学園入試(～20日) 20 金 私立高校推薦・専願入試 25 水 公立高校特色化選抜入試(～26日) 31 火 私立高校一般入試 (北九州地区・～2月2日)							



※ 予定は現時点でのものです。今後の状況によって変更になる場合もあります。